

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105180
法人名	有限会社 ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム 山田の里
所在地	鹿児島市山田町4番地3 電話) 099-264-0850
自己評価作成日	平成27年2月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年3月10日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営者は地域福祉に関わる必要性を認識し、23年度よりAEDを導入し救急ボランティア事業所として、地域の方々にも貢献し相互関係を築けるように努めている。又、避難場所の確保や非常食、物品も確保をしている。医療面では、協力医療機関と24時間サポート体制で日常の健康管理、緊急時の対応等が図られている。入居者様一人ひとりのペースで、ゆったりと過ごせる時間作りや職員とも向かい合い、なんでも話し合える雰囲気作り日々のレクリエーション時には、カラオケ等を一緒に楽しまれるように支援しています。入居者様が安心した生活が送れるようにチーム一丸となって努力しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、近隣に小学校や中学校、交番、飲食店、大型スーパー、医療機関などがあり、大型団地も背景にあって利便性のよい環境に位置している。
- ・『あなたの笑顔が私達の喜びです。あなたがあなたらしく、地域に密着した生活が送れるように支援します。』といった地域密着を意識した理念になっており、朝礼の際に唱和し、日々のケア実践で振り返り確認するなど共有を図っている。
- ・地域とは、町内会の行事を通じて交流したり、近隣を散歩するなどして地域住民と触れ合い、親しい付き合いがあり、野菜の差し入れもある。
- ・利用者の笑顔を大切にしているため、家族との絆は特に重視している。そのため、運営推進会議への出席や行事、食事会などを通じて関係性を深めホームの運営についても、忌憚なく意見をもらうよう努めている。
- ・協力医療機関とは、定期受診や訪問歯科診療など適切な医療が受けられる体制がある。主治医は、認知症専門医でもあり専門的な見地からの意見や治療方針など共有し、精神科医との連携も図っている。重度化については早い段階から話し合い、看取りについても柔軟に取り組んでおり、すでに看取りの経験がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念である「あなたの笑顔が私たちの喜びです」に、基づき個人目標に繋げるように取り組んでいる。基本方針の実現に向け、職員は日々努力している。	開設当初からの理念であり、過去に職員会議で理念の見直しを検討している。日々の生活の中で利用者のいつもの笑顔が職員の喜びであり、本人らしい生活の実現に向けて毎朝の申し送り時に唱和し、理念は共有され職員一人ひとりに浸透している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者様が安心して暮らし続けるために、開設時から町内会に加入している。地域の方々とも散歩時や朝夕の声かけや季節の野菜等も頂いたりしている。	自治会に加入して、運動会や十五夜などの町内会の行事を通じて交流活動をしている。開設した頃と違い地域も様変わりしてきているが、利用者と近所を散歩するので住民と顔馴染みになり、野菜の差し入れもある。職場体験やボランティアの受け入れをして地域と関係性を深めるなど努力している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	グループホームの役割や認知症、介護保険についての説明を行い、いつでも相談に応じられる事をお話ししている。又、ボランティアの受け入れの際は、十分に配慮している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、各構成員や地域包括センター担当者も出席し、幅広い意見がもらえる雰囲気作りに努めており、2ヶ月に1回、定期的開催している。内容もマンネリ化しないように努めている。	家族代表ではなく、できるだけ一人でも多くの家族が参加できるよう取り組んでおり、会議に参加する家族も多い。会議の後、行事（運動会・食事会、消防訓練など）を計画し、家族と一緒に過ごせる機会を大切にしている。会議の案内書には、毎回、ホームの理念についても触れるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生保の方が数名おり、市町村担当者の方々とは、入退院の報告や介護保険更新時の介護計画書の提出等も行っている。わからない事等や相談事等は電話や出向いたりして教えてもらっている。	電話や支所の窓口に出向き市担当者や福祉事務所担当と直接相談したり、アドバイスを受けるなどしている。また、3ヵ月に1回、メールで待機利用者情報を報告し、連携している。市主催の研修会の案内もあり、積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症であっても尊厳ある生活を送れるように、毎月の全体会議で身体拘束についての勉強会を実施し、拘束によって生じる弊害等を理解出来るようにして防止に努めている。	日常的に徘徊や帰宅願望の強い利用者が数名おられ、安全を期して必要に応じ玄関を施錠するなどしているが、気持ちの安定を図るため、回廊になった室内を職員と一緒に歩行されたり、なるべく移動の制限などしない取り組みを実践している。職員は、委員会でマニュアルを活用したり、勉強会に参加して身体拘束の弊害について理解を深め、できる限り拘束しないケアについて話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の勉強会において、身体的な部分だけではなく、日々の声かけ等でも失礼な物言いになっていないか、職員同士で気をつけて実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護を活用されている方はいない。成年後見制度の研修会にも参加して、すべての職員にも研修内容を説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約は書面にて説明をし、納得の上、同意書の記載をお願いしたり、制度の改定がある場合等も再度説明し、同意を得ている。疑問があった時は随時、入居者様やご家族様と話し合いの場を設けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時は、時間を設けてご本人様の状況や生活の様子を伝え、その中より吸い上げるようにしている。ご家族様との連携やスタッフとの情報共有を図りながらより良いケアが出来るようにしている。	利用者とのコミュニケーションを大切にしている。食後や入浴、余暇の時間などリラックスしている時に希望や要望などを伺っている。家族には、面会時や行事、食事会を通じて意見や要望を聞いている。推進会議の会議録は、その都度家族に郵送し、情報の共有化を図り、出された意見などを運営に活かすように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常生活の中で、管理者は職員の意見や提案を聞いて、随時施設長に報告、相談して反映されるようにしている	月1回の職員会議には、運営者も参加され、職員と個別面談して要望や意見を聞く機会を設けている。人事考課システムもあり、年2回自己評価するとともに管理者が評価して、運営に関する意見や要望など法人を通じて改善策を検討し、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	諸事情による急な勤務変更や休みになっても働きやすい職場環境となっている。運営者はゆるぎなく、外部研修や就業面にも配慮してくださっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内も学びの場としており、勉強会や研修で得た知識は報告書を作成して回覧し、すべての職員が目を通すようにしている。個々の目標設定に合わせ常にスキルアップに努めるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホームとの交流や勉強会での繋がりも確保し、関連施設での勉強会にも出席し、その中から学び得た知識や情報は職員で共有しながら、事業所のサービスに繋げるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前、ご本人様及びご家族様より身体状況や生活歴、経過シート記載等の情報をいただき、活用しながら職員と他の入居者様と、馴染みの関係が築けるようにコミュニケーションを図れるような場を設けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>新しい生活に向けて、ご本人様やご家族様の困っている事、不安な事、思いを伺い、解決の糸口のお手伝いをさせて頂き、少しでも緩和できるようにしている。事ある毎に様子も伝えるようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人様やご家族様からの主訴を伺い、十分に検討した上でご本人様がベストな環境で生活できる事を優先し、必要と思われる支援を見極めながらサービスに繋げるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人様の思いに寄り添う気持ちで接し、喜怒哀楽を共にしお互い支えあう関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の山田の里便りで、近況を報告している。又、面会時や電話等でも情報を共有出来るようにしている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々の訪問が気軽に出来ている。又、ホームの行事にも、多くの家族の協力を得て、参加して頂いている。	近所の店に買い物に行ったり、いきつけの理髪店に行く利用者もいる。家族に協力をもらって、外泊をされた方もおられるが、認知症や身体機能が重度化するにつれ外出をためらう方々も増えてきている。職員は、電話で話しができる方への支援や友人、知人の面会時の雰囲気作りにも力を入れている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの席や外出時の配車等、孤立せずに関わり合えるように配慮している。また、個々の出来る力に応じて支え合えるように声かけ支援している。			
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方でも、面会に行ったり施設の行事等へ招待している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が、ご本人様やご家族様から個々の話を聞き思いや意向を把握できるように努めている。これまで生活されていた中で、趣味、趣向等も取り入れ本人の意向に添えるようにしている。	日々のケアの中で本人の思いを汲み取るよう努め、家族の情報も参考にして3カ月に1回カンファレンスを開催している。職員の意見交換により本人の思いの把握や共有をするよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様から聞いた事等を把握し、日々の生活の中で活かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケアの中での気づきや入居者様、ご家族様からの要望を基に個々の生活リズムを把握し心身状態等を見極めるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の気づきやご本人様の希望、ご家族様の要望、思いを伺い、そのことを踏まえた上でご本人様にとって何が大切かを提言し、介護計画の見直しをしている。	月1回、担当者を中心にして職員全員でモニタリングしている。また、ケアチェック表にてアセスメント・分析し、見直しも随時実施している。認知症や精神疾患を伴う利用者も少なくないが、介護計画の作成には、日々、本人に寄り添い、現状に即した介護計画を作成するよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝夕の申し送りや個別の記録ノートを活用し、職員間で情報を共有している、また、個々のケース記録や健康管理表で日中、夜間の様子もわかるようにし情報を共有し実践にいかしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族や他の医療機関の協力の下で、往診や外来受診を取り入れたり訪問歯科、訪問鍼灸等も取り入れたりしている。食事も好き嫌いや健康状態に適した献立にする等、配慮している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議には地域住民代表の方にも参加して頂き地域資源に関する情報や意見を伺っている。季節の野菜等の差し入れを頂いた時には、入居者様とかかわる時間を設けてくださっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の主治医は、入居者様の一人ひとりの心身状態を熟知しており、受診日には個々に優しく向き合っており、ご本人様ご家族様の希望するかかりつけ医を優先するようにしている。	主治医は、利用者や家族が希望するかかりつけ医となっており、外来受診にて定期的な診察や内服薬処方を受け相談するなど適切な医療が受けられるよう支援している。AEDが設置しており、専門医との連携を密におこない、相談したり指導を受けられる体制が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	業務提携をしている医療機関の看護師は、一週間に一回の健康管理に訪れ、相談や助言はもちろん、入退院の立合や入居者様の状態変化への対応、緊急時は24時間連絡が取れる体制であり、職員と共有したケアになっている。主治医とも連携し入居者様の生活を支援してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関での入院、治療がスムーズに出来るように情報提供を行っている。入院中は主治医やご家族様に確認しながら面会に出向き、経過の把握を行う事で早期退院が可能になるように連絡を密にとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期については、入居時に、できる事、できない事を説明し「医療連携加算」「看取りに関する指針」を整備して同意を得るようにしている。その時その時に、主治医の意見も含めながら今後の方針についても、話し合っている。	重度化や看取りの指針があり、「施設内での看取り介護についての同意書」にて十分な説明と同意をいただくようにしている。早い段階から、家族や関係機関と連携し、本人や家族の意向を踏まえ、ホームででき得るケアについて話し合い、必要に応じて医療機関を紹介している。昨年、看取りの経験もしている。また、管理者は、職員の心のケアについても十分配慮している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、緊急時のマニュアルや連絡網を作成し、各ユニット毎に勉強会を行い落ち着いて行動する事ができるように努めている。9割の職員が普通救命の講習を受講している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防署立ち合いの防災訓練を実施している。又、毎月、全体会議後にホーム独自の避難訓練も行っている。停電時の非常食、物品も職員も含めた分を常備し、災害時の避難方法及び避難連絡網、入居者様一覧のファイルも共有しながら、いつでも持ち出せるように備えている。</p>	<p>年2回の避難訓練は、1回は夜間想定で実施している。毎月の自主訓練では、通報や誘導、避難を徹底している。訓練は、利用者や家族とおこない、地域の協力体制も確保できている。夜間帯の巡視は、笛と懐中電灯を持って、いつでも避難ができるよう意識づけし職員全員で取り組んでいる。また、水、カップ麺などの備蓄もユニットごとに完備している。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量等は健康管理表に記入することで、一人ひとりの摂取量を把握している。食事を思うように摂れない方には、主治医より個別で高カロリーの補助食品を出して貰っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に習慣となるよう、個々の状態に合わせた見守りや声かけ介助をしている。口腔内に残渣物が残っていないか、確認するようにしている。又、定期的に訪問歯科を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄状況やパターンを把握し個々の認知症状に合わせ、パットの有無、サイズの使い分けやリハビリパンツにしたりし、一人ひとりに合わせている。排泄パターンに合わせて事前に声かけをし、トイレでの排泄が出来るように支援している。	入所後、2週間程度は排泄のリズムを把握するよう取り組み、その後は、健康管理表にて毎日チェックして排泄の自立を支援している。布パンツを使用される方も多く、腸内細菌を増やしたり、水分補給、服薬に努め排便コントロールしている。ヨーグルト作りは、開所当初から続けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食事の中に繊維質の食べ物や毎朝、ヨーグルト等を多く取り入れたり、水分摂取をしていただく工夫をしている。個々の状態に合わせ便秘予防に取り組んでいる。日常的に身体を動かす機会を作っている。それでも排便困難な時には、主治医に相談し、下剤でコントロールしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は基本的に決まっているが、個々の状態に合わせた入浴方法をしている。希望にも合わせ、湯温・時間等の調整も行っている。入浴拒否がある方は無理に勧めず、時間をずらしたり、声かけの工夫をしている。	男性の入所者が多いこともあり、入浴の順番は男女に分けて入浴してもらっている。入浴をためらう方には、時間をずらすなど声かけして、気持ちよく入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、安眠できるように日中の生活リズムを整える事が出来るように支援している。屋外への散歩やリハレク等を行い、心地良い安眠へ繋げている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報綴りを作成し、処方箋が新しくなったら入れ替えている。服薬時には、本人に手渡し服用を確認するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活を通して、一人ひとりが力量を発揮し、活躍できるように掃除や洗濯物干し、たたみ下膳等の手伝いをしてもらい役割作りの場面を作り楽しく過ごせる環境をサポートしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良い時には、職員と散歩に出かけたり1対1でスーパーやデパートに行き、洋服を買ったり食事をしたりし個別ケアにも取り組んでいる。	季節や天候を選んでできるだけ外に出かける機会を作り、ユニットごとに外出している。近隣には、大型スーパーなどもあり買い物の支援をしたり、ソーメン流し、いちご狩り、花見、運動公園に行くなど毎月1回外出するといった支援を年間計画に位置づけて実施している。また、個別の外出支援にも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様よりお金を預かり施設で管理している。入居者様の希望を聞いて、一緒に買い物に出かけたりしている。ご家族様の了解の下で少額であるが所持している方もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族に電話したいと申し出があった時には、事務所でゆっくりと会話ができるように支援している。また、ご家族様からの電話も気兼ねなく会話ができるような環境作りをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビング、ベランダには季節を感じさせる花々を飾ったりしている。リビングには、戸外レクリエーションで出かけた時の思い出の写真を飾ったりして、一緒に楽しめるように工夫している。</p>	<p>玄関や階段の踊り場などに、桜やチューリップなどの生花が飾ってあり季節感を与えている。台所から共有スペースが見渡せ互いの顔が伺える家庭的な作りになっており、周囲にソファが配置され、思い思いに過ごせるよう工夫されている。グッピーを飼ったり、観葉植物も多く中庭にはバナナの木もある。また、行事の写真やぬり絵が掲示され、エアコンの風が直接当たらないよう配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにはソファや長椅子があり、気の合った方々と一緒にテレビを観たり楽しく会話されたり、音楽を聴かれたり出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、タンスは施設で準備した物ですが、ご本人様ที่ใช้慣れた椅子や鏡を用意されている方もいる。ご家族様の写真を飾ったりお位牌を持ち込まれて、心を和ませている方もいる。	部屋の扉に鈴を設置したり、テレビ、整理タンス、家族写真、ギターや毛布など使い慣れたものを持ち込み居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご入居様の身体状態に合わせて、トイレ、廊下、浴室等には手すりを設置している。一人ひとりの力を見極め、必要な目印を付けたりしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない